

費用



監修 新美 昌也先生
T&Rコンサルティング有限公司代表。
ファイナンシャル・プランナーとして、保
護者向け進学マネー講座を開講している。

受験に必要な費用は受験料をはじめ入学金や学費もあり、金額が大きい。
受験料割引制度や奨学金制度が充実している大学はたくさんあるので、
確認しておこう。

ココに注目！

- 受験料、入学金など項目別に調べよう
- 共通テスト利用入試や受験料割引制度などを上手に活用しよう

納付金だけじゃない 大学入学までにかかる費用

次のページ上段のグラフを見てみよう。これは、2022年度に入学した新入生保護者に全国大学生生活協同組合連合会（以降「大学生協」）が入学までにかかった費用を質問したアンケート調査の結果だ。

これを見ると入学した大学への納付金のほかにも、入学しなかった大学への納付金が約26万円、出願費用約13万円など、納付金以外にも大きな出費が必要になることがわかる。

大学生生活をスムーズに始めるためにも、必要な費用は事前に把握して準備しておきたい。

必要な費用は 受験前にもある

参考書や問題集、模擬テスト代など、入試本番前のお費も少なくない。これらの費用も洗い出し、しっかり準備しておくことが大切だ。

初年度納付金の 納付時期もチェック

初年度納付金は合格発表後2週間以内に支払う場合がほとんどだ。推薦の場合は年内に合格発表があるため、一般選抜よりさらに早めの準備が必要になる。納付期限がいつ頃で、納付金はいくらになるのか家族でしっかり確認しておこう。

TOPICS

高等教育の 修学支援新制度

新支援制度は「授業料・入学金の免除・減額」+「給付型奨学金の支給」の2つの支援により、対象となる大学や専門学校などで安心して学べるようにする国の制度。

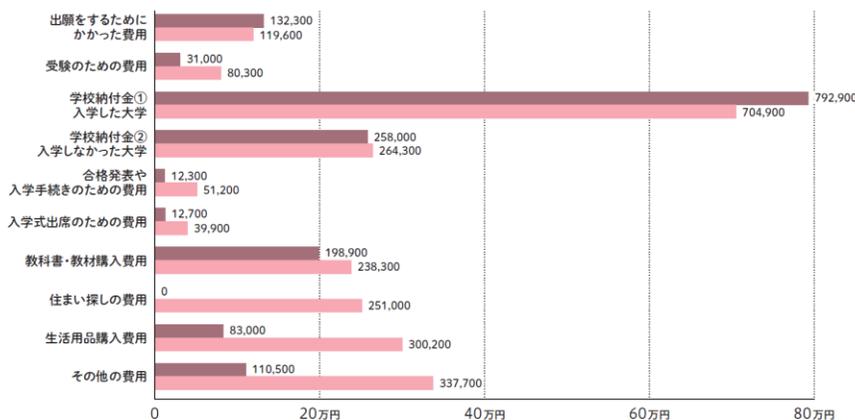


支援対象となるのは、「学力基準」と「家計基準（収入基準・資産基準）」のどちらも満たす学生全員だ。また、給付型奨学金、貸与型奨学金（予約採用）とも、支援対象をこれまでより拡大している。

報奨金制度の詳細は「日本学生支援機構」のWebサイトで確認しよう。
日本学生支援機構 奨学金
www.jasso.go.jp/
shogakukin/index.html

data

■入学までにかかった費用



出典：全国大学生生活協同組合連合会（全国大学生協）「2022年度保護者に聞く新入生調査報告書」

出費抑制のために受験校の 制度を確認しておこう

右のグラフを見ると、受験料の増加や入学しない大学への入学金など、予定していた金額よりも大きな出費があることがわかる。

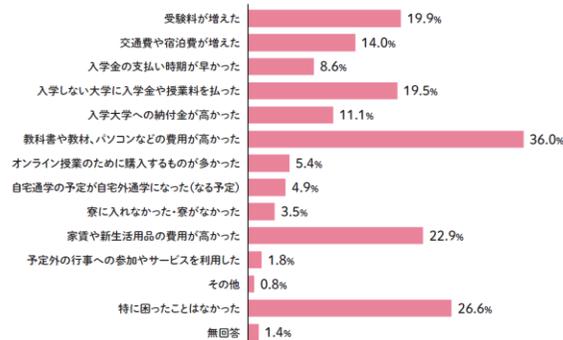
受験費用を抑えるために、例えば私立大学の「共通テスト利用入試」や、同じ大学で複数学部併願することで利用できる「併願割引制度」などを活用する方法がある。

私立大学の場合、共通テスト利用入試を利用すれば、個別試験だと1学部につき約3.5万円かかる受験料が、1.5万円～2万円程度で受験できる。また、併願割引制度を活用すれば、同じ大学の複数学部を受験する際に2つ目以降の受験料が割引になる場合もある。新生活を安心してスタートするためにも、割引制度を活用して節約に努めよう。

また、授業料の減免制度を独自に設けている大学も少なくない。

data

■受験から入学までにかかった費用で、予定と違って困ったこと



出典：全国大学生生活協同組合連合会（全国大学生協）「2022年度保護者に聞く新入生調査報告書」

入試の段階から「特待生」「給費生」などの名称で募集する大学もある。大学パンフで調べてみよう。

入学しない大学の 納付金節約

併願校納付金の支払期限が第1志望校の合格発表の前だと、両大

学合格した場合、納付金をダブルで支払う必要がある。受験計画をしっかりと練って準備しておこう。

なお、一般選抜の場合は3月末までに入学を辞退すれば入学金以外の授業料は返金してもらえる。事前に確認し手続きを忘れずにしよう。